



ごあいさつ

伊丹市国際・平和交流協会 会長 田村 かよ子



平素は伊丹市国際・平和交流協会にご尽力賜り、心より感謝申し上げます。

ベルギー王国ハッセルト市と国際姉妹都市を、中国佛山市と国際友好都市提携されていずれも32年目を迎えることになりました。長年に亘る市民代表団、学生代表団の相互訪問など、地道な草の根の相互交流の積み重ねが、揺るぎのない姉妹都市・友好都市としての歴史を刻みました。

昨年は日本・ベルギー国交樹立150年という節目を迎え、7月に駐日ベルギー大使をお迎えし、王立国際カリヨン音楽院院長によるカリヨンコンサートとベルギーの食文化を楽しむ催し「フランダースデイ」が有岡城跡史跡公園で開催され、多くの皆さんと盛大に祝う事ができました。

続く10月の異文化理解講座では、中国佛山市からの留学生、苗伍君（びょう・ごくん）さんのご協力を得、佛山市の歴史・文化等を紹介する講演会を開催いたしました。

このような伊丹市国際姉妹・友好都市交流事業、また日本語学習サロンや中国語講座など相互理解のための地道な活動を通し、国際・平和交流協会といたしましては、本年も異文化の相互理解を深めるため、市民レベルによる草の根交流、活動を推進してまいります。

一方、平和推進事業におきましては、「小学生☆夏休み平和学習」を開催し、小学4～6年生を対象に市内の戦争遺跡及び平和関連施設をめぐり、戦争の悲惨さを学び、平和の尊さ、生命の大切さを考える機会としました。

昨年8月の原爆記念日には当時のアメリカ大統領：オバマ氏が広島を訪れ、「紛争を外交的な手段で解決しなければならない。紛争を終わらせる努力をすることが必要です。平和的な協力をしていくことが重要です。人類は過去に過ちを犯しましたが、その過去から学ぶことができます。子どもたちに対して、別の道もあるのだと語ることができます。すべての人命はかけがえのないものです。私たちは、「一つの家族の一部である」という考え方です。これこそが私たちが伝えていかなければならない物語です。もはやこれ以上、私たちは戦争は望んでいません。科学をもっと、人生を充実させることに使ってほしいと考えています」とスピーチされました。

本年1月アメリカの大統領がトランプ氏に代わり、世界情勢も刻々と変化しています。世界では紛争も絶えません。卑怯なテロも起こります。しかし、世界中変わらない人々の日々のいとなみがあります。未来を担っていく子どもたちの為にも、伊丹市国際・平和交流協会としては「異文化間の理解を深め、交流を重ね、すべての人命はかけがえのないものであること、そして平和的な協力の重要性」を発信できるよう取り組んでいきたいと存じます。今後とも多大なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。



フランダースデイの会場風景